

令和4年度三重県沿岸種資源評価

サザエ



資源水準・動向

低位・減少

生物情報

- 産卵期は7～8月で、産卵場は親サザエが分布する岩礁域、浮遊生活は2～5日間。
- 殻高は1歳で10mm前後、2歳で20mm、3歳で40～50mm、4歳で60～70mmとなる。
- テングサ類、アオサ類、ミル等の小型海藻が好適な餌料となる。

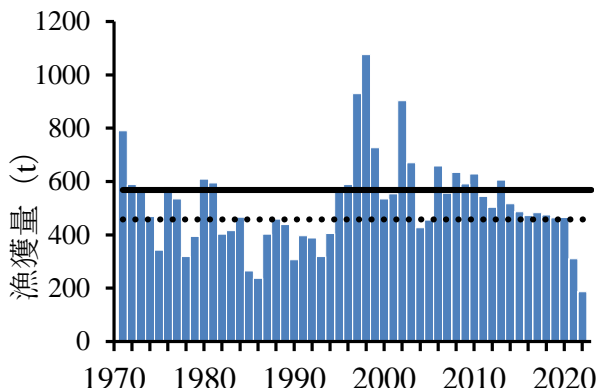
漁業の特徴

- 漁獲のほとんどが伊勢湾口から熊野灘海域で、海女漁、刺し網、ひし突きで漁獲される。
- 漁期は地区や漁法によって異なるがほぼ周年。
- 漁獲主体は3歳以上。
- 市町別漁獲量では志摩市が最も多く、県内漁獲量の56%を占める(2018年)。

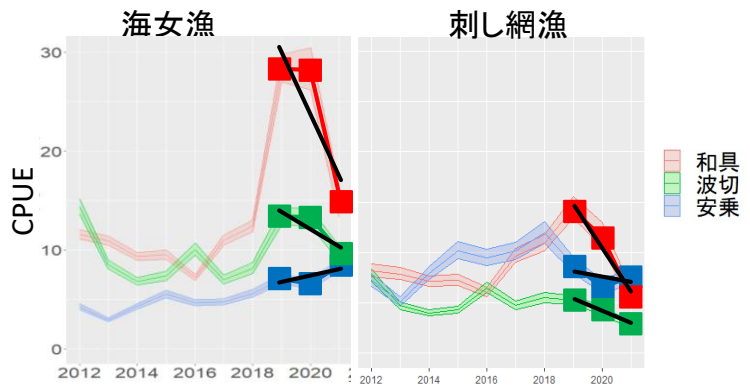


資源状態

- 漁業・養殖業生産統計年報による三重県漁獲量の推移から資源水準は「低位」とした。
- 三重外湾漁協の志摩市3地区の海女漁と刺し網漁のCPUE(※)から動向は「減少」とした。



※漁法別(海女漁、刺し網漁)日別人別漁獲量から解析した標準化CPUE(右図)



資源管理の取組

- 体長等の制限(殻蓋の長径2.5cm以下は採捕禁止:公的規制)

将来考えられる資源管理の取組

- 漁獲サイズの制限の引き上げ
- 産卵親貝の保護
- 産卵期の漁獲制限